

No.1795

第1796回例会

2018年2月16日(金)12:30~13:30

点鐘

ロータリーソング “それこそロータリー”

会食 (和食)

会長会務

* ビジター・ゲスト紹介

* 先週の2月5日に、私と松島幹事が久しぶりに鳥取中央RCにメーキャップしてきました。例会運営の違いが参考になりました。

* 2018年2月16日は旧正月です。今の日本では馴染みのない感覚ですが、中国、台湾、韓国などアジア諸国では今でも年越しと言えば春節を国の休日として祝っています。

* 渡邊会員に新入会員バナーをお渡しします。

* 2月の創業祝いを差上げます。

大野憲一会員 森 雅道会員

幹事報告

* ガバナー事務所より、2018学年度ロータリー米山奨学生の世話クラブとカウンセラー引き受けのお願い。

当クラブは鳥取大学の中国出身の女性です。

* 理事会報告。

* 例会後、クラブ奉仕委員長会議を開催いたします。

委員会報告

* 親睦・出席委員会

出席率・スマイル報告

* 副会長より

* その他

卓話「魔法の石」

(株)鳥取再資源化研究所

代表取締役 竹内 義章 氏

先週(第1795回例会)の記録

2018年2月9日(金)12:30~13:30

会長会務

木原副会長、先週の会長会務お世話になりました。

第23回オリンピック冬季競技大会が韓国平昌で2月9日から2月25日までの間に、92カ国の参加で開催されます。開催されるたびに参加国は増えています。第1回から調べると、1924年フランスのシャモニーモンブランで、参加国16カ国で行われ、今回で94年目となります。

日本は、第2回の1928年のスイスのサンモリッツから参加しています。その後、1940年の第5回は日本の札幌で開催予定でしたが、第二次世界大戦の影響で中止、その4年後もイタリアでの開催予定が、長引く戦争で中止となりました。そして第11回の1972年に札幌オリンピックが35カ国の参加で無事に開催され、日本はメダルを3個獲得。1998年の長野オリンピックでは、メダルを10個獲得しました。今回も、メダル獲得が期待される競技をTV観戦したいものです。4年後は、北京で開催予定です。「平和の祭典オリンピック」は世界平和という人類の願いが込められた祭典です。良い観戦マナー、ルール違反の無いオリンピックになればよいと思います。

山下竜一会員

この場をお借り致しまして。父が他界いたしました際には、ご会葬ご厚志、たくさんの弔電等をいただきまして、大変ありがとうございました。

幹事報告

* 第1・第2グループ合同IMのご案内。

4月14日(土)12:30~受付

13:00~18:00 ANAクラウンプラザホテルにて

登録料 8,000円

登録締め切り 2月28日(水)

10:50 駅南集合 11:00 出発

お昼はお弁当を用意いたします。

詳細のプログラムは配布したチラシをご覧ください

さい。本日より出欠席を伺います。
なお、翌4月15日(日)は地区研修・協議会、砂丘一斉清掃があります。
*2018~19年度ロータリー手帳のご案内。
購入希望を回覧します。

出席率

2月 9日 会員55名 欠席10名 81.48%
1月26日 メーキャップ 5名 83.33%

メーキャップ会員

2月5日 倭島昭博会員 松島 勇会員 鳥取中央RCへ
2月8日 森下哲也会員 鳥取RCへ

スマイル

- * 倭島昭博会員 / ①本日の卓話、はやし接骨院院長様大変お世話になります。②木原副会長、先週の例会お世話になり有難うございました。③西ロータリークラブの平均年齢を少し超えました。(誕生日)
- * 松島 勇会員 / 林先生、本日はありがとうございます。
- * 山下竜一会員 / ①先日は、ご会葬いただいたうえ、過分なご厚志と多数の弔電までいただき御礼申し上げます。②あっという間に1年が過ぎました。(皆勤表彰)
- * 山下卓治会員 / 今日1日だけの春にならないように。
- * 生馬美津雄会員 / 76才になります。
- * 山田光成会員 / 36才になります。今年は年男です。
- * 麻木宏栄会員 / 誕生日
- * 遅刻1件・早退2件 合計24,000円
- * R財団特別寄付: 1件

社会奉仕委員会 岡本委員長

4月15日(日)に砂丘一斉清掃。スケジュールの確認をお願いします。

雑誌委員会 坂本委員長

横軸では、紛争解決月間ということで、平和に関する記事、米山奨学についてまとめてあります。縦軸では、今泉さんのマンマーにおいての奨学金事業の記事が載っています。

卓話「Iターンの理想と現実」

はやし接骨院 院長 林 貴之 氏



以前は、西武球場がある埼玉の所沢で、介護施設と接骨院を任されていました。

所沢は、住みやすいベッドタウンでしたが、空気の悪さが気になっていました。茶色の空の下、子どもたちが遊んでいるの

を見ると、自分が子育てをすることに不安を感じます。水道水も、カルキ臭くて浄水器を通さないと飲めません。

鳥取に来て驚いたことは食べ物です。キャベツを千切りにして電子レンジにかけただけで、とてもおいしく食べられました。埼玉で同じことをしても味がありません。ドレッシングやソースをかけないと食べられません。

介護施設で働いている時に気づいたことは、利用者の方々がまともに歩けないということです。歩行障害に係ることが、生涯の仕事になりうるのではと考えました。

鳥取には5年前に来ました。埼玉では、接骨院はとても流行っていましたが、鳥取ではなかなかうまくいきませんでした。どうやら鳥取では人脈が大事でなかなか人が集まりません。

そこで、人脈を作るために、仲間たちといろいろな勉強会を立ち上げて、経営、家族の両立をテーマに勉強しています。

移住の決め手は、娘のアレルギーでした。重度の食物アレルギーで、食べられるものがほとんどありません。さらに、埼玉にいる家内の友達は、頼る人たちがいない中、子育てをしているため疲弊しきっています。

最近の子どもたちに気になることが多くあります。アレルギー症状やアトピーが増えてきていること、無歯症(永久歯がはえない)、易疲労、けがや病気が治りづらい、精神不安などです。

最近、大腸の環境に問題があるのではといわれてきています。昔は、寄生虫が大腸の中にたくさんいて、患部を食べてくれていました。

さらに、歩行機能が関係している可能性があります。歩く時間や距離が小さくなって、体を作り切れていません。

また、子どもをつくりにくい子どもが増えていきます。生理が起こりづらい、出産に耐えられる母体が減ってきました。その子たちが、子育てをすることも難しい。

鳥取では、飲み水、空気に関しても少し無頓着ではないかと思えます。食べ物は、何でもそろそろ素晴らしいところですが、子どもたちがお菓子を食はずぎているのではと危惧しています。

「レスパイト」という施設は、女性が子育てをするときに安らげる場所です。山陰にはありません。吉岡温泉につくれないうか考えていますが、なかなかうまくいきません。

自分の子どもたちには、尿、便、汗がしっかり出せる体を残してあげたいと思っています。これには、よく歩くことが大切になります。これにより、腎臓を動かす事で、尿を出せますし、排便にもよい影響があります。出産に関しても、歩くことで、骨や内臓を鍛えることが大事です。

自然界では、歩かないと捕食できませんが、人間は歩かないでも食事ができます。ちゃんと歩けるようになると、いろいろな問題が解決できます。

次週例会予定

2018年2月23日(金) 第1797回例会

卓話「地方自治体の財政分析」

会員 児島 良 さん
(編集者 山下 聖児)